しろやぎさんからの手続

病児の保育しろやぎさんのポシェット

H30.3月 N0.20

日に日に寒さも和らぎ、木々や草花が芽吹き始める様子に春の訪れを感じる季節となりました。 今年度も残りわずか。 新年度を元気に迎えられるよう、ひとり一人のこども達の日々の体調に気を配りつつ、保育をしています。

花粉症について

≪花粉症の予防≫

毎年花粉症でお困りのお子さんは、十分な予防対策が必要な季節です。花粉症の保育園児や幼稚園児のお子さんは晴天時や風の強い日などは特に園庭などでの屋外活動を避けることが大切です。屋外活動のあとには顔や手や目を洗って花粉を目や鼻に入れないように配慮することも重要です。

必要に応じて眼鏡やマスクを使用したり、屋外での活動を避けること等、ひとり一人の状況や年齢や症状に応じた個別の対策をご相談ください。(特別な配慮や管理の必要な花粉症のお子さんには『(保育所における) アレルギー疾患生活管理指導表』を作成して「屋外活動の制限」が指示される場合があります。)

≪花粉症の検査について≫

アレルギー性鼻炎の検査として、鼻水で調べる「鼻汁中好酸球検査(アレルギー性鼻炎の有無がわかります)」、アレルギー性結膜炎の検査として涙で調べる「涙液中IgE 検査(アレルギー性結膜炎の有無を推定します)」を実施しています。花粉症の診断に血液検査は必須ではありません。血液検査でスギ花粉に反応が出ても、それだけでは花粉症と診断できませんが、ご希望の方には血液検査も実施しています。

≪花粉症の治療で大切な事≫

- ●最も大切なのは、抗原(花粉)の除去と抗原(花粉)接触 の回避です。
- ●マスクやメガネを使用しましょう(必ずしも花粉症用のメガネでなくても通常のメガネでも OK ですが、自宅外(園や学校)では終日装着することが望ましい)。
- ●屋外での活動を必要最小限にすることが必要です。
- ●屋外から屋内に入るたびに上着を脱いで、手と顔を洗いましょう。
- ●髪の長いお子さんは帰宅後にシャワーで髪を洗い流して服を着替えるのも効果的です。
- お部屋の中が花粉まみれだと辛いため、吸引力の強い 掃除機で毎日お掃除をしましょう。
- ●市販の使い切り点眼薬(ドライアイ用の抗菌薬の入っていないアイリス CL-1 などを推奨しています)などを 頻用して眼の花粉を洗い流すことが効果的です。

≪その他≫

雨の日や起床時に症状がひどい場合は、花粉症でない可能性も考えられます。(ダニやハウスダストによる通年性アレルギー性鼻炎結膜炎や、ウイルス感染による感冒症状の可能性が考えられます。)

咳や発熱などの症状を伴う場合は、ほとんどが感染症による症状で、花粉症の可能性は低いと考えらえます。

流行状況 (H30.2/1~2/28 検査陽性者のみ)

	市内		市外	
	未就学児	就学児	未就学児	就学児
溶連菌	149	127	159	99
アデ ノウイルス	1			
RS ウイルス			7	
ヒトメタニューモ	3			
水痘	1			
インフルエンザ [*] A	12	4	8	6
インフルエンザB	43	85	28	34

対象: 当院受診者

しろやぎさんのポシェットのお部屋から

今年の冬はインフルエンザが全国的 に流行しました。しろやぎさんのポシェットにもインフルエンザに罹った お友達の利用が多くありました。

インフルエンザは出席停止の期間が 長いので、症状が落ち着いてくると 「次は何やる~?」と元気な声が飛び 交います。鬼ごっこやゲームなど、室



内で体を動かしてパワーを発散する時間を作ったり、利用するお子さんの年齢構成に合わせて毎日様々な遊びを展開します。

ある日は「わりばし鉄砲あそび」! 年上の子が、小さい子に輪ゴムのつけ 方を教えてあげたり・・、他のお友達 と仲良くなるきっかけにもなりまし た。的に向かって、よ~く狙って、当 たるかな!?



たくさん雪が降った日は「雪遊び」 窓の外に積もった雪で雪遊びを楽しみました。

サラサラした雪はとっても冷たいけど、子ども達はへっちゃらです。雪をキュッキュッと丸めて小さな雪だるまを作ったり、駐車場で雪かきをしている staff を見つけると雪合戦をしたり・・!! 「いくよ~!」とにぎやか

な声が響きました。

病児保育は少人数、時には 1 対 1 の保育の時もあります。

保護者の方から離れる時は不安顔 の子もいますが、「楽しかった!ま た来るね!!」と笑顔で帰るお友 達がたくさんいます。小学生の中 には「今日で最後になっちゃうね。

僕のこと忘れな

いでね」と言ってくれるお子さんも….」

病気の時に来てホッとできる場所…。 それが「病児の保育しろやぎさんのポシェット」だと思います。私たち staff は日々そんな思いを大切にしながら保育をしています。



お問い合わせやご相談は

那珂キッズクリニック小児科 病児の保育しろやぎさんのポシェット